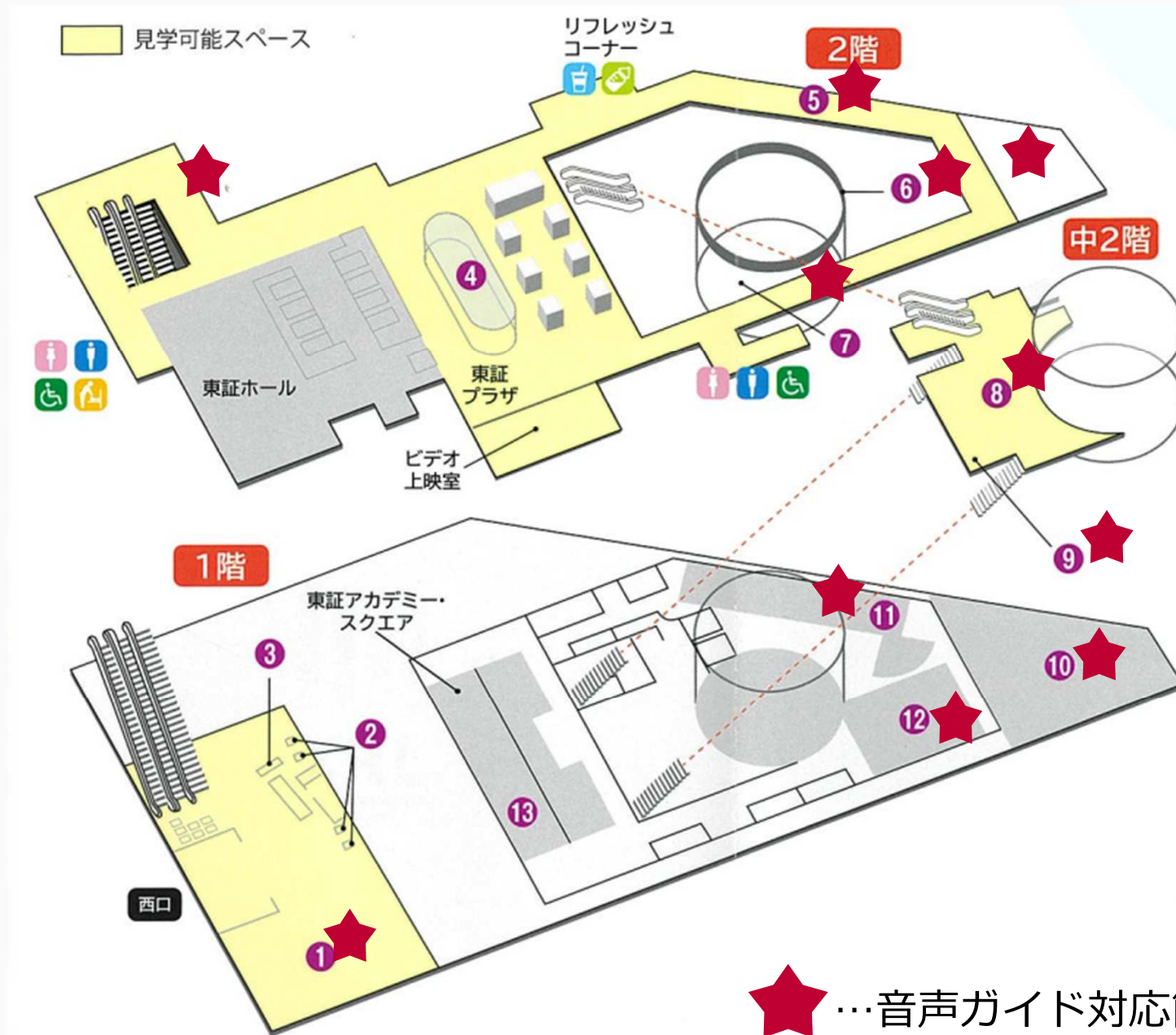




東証Arrows バイリンガル案内

日本語・中国語(簡体字)
中文(簡体字)・日文

館内地図



1階部分

証券史料ホール（1）



明治・大正期

証券史料ホールでは、日本の証券市場のあゆみと東京証券取引所の歴史を裏付ける資料が、明治・大正・昭和と時代を追って展示されています。

明治時代になると、政府は近代的な国家を目指して次々と国の仕組みを改革しました。証券市場の開設もその一つです。

こちらには、当時様々な目的で発行された公債、東京株式取引所の開業当時の様子を詳しく表した絵巻物、国内初の上場会社の一つである東京株式取引所の株券、仲買人が着用していた半纏や今の入館証にあたる入場鑑札など、当時実際に使用されていたものを展示しています。

明治、大正时期

証券博物館展示着明治、大正、昭和时代，包括东京证券交易所历史在内的日本证券市场的历史资料。明治时期，政府以现代化国家为目标，接连不断地进行了国家体制改革。证券市场的开设也在其中。

这里展示了很多当时实际使用过的物品。如当时以各种目的而发行的政府债券、详细展现了当时东京股票交易所情况的画卷、日本国内第一家上市公司之一的东京股票交易所的股票、经纪人穿过的短上衣和相当于现在入馆证的入场许可牌等。

証券史料ホール（2）



株券

こちらには、2009年の株券電子化により今ではもう使われることのなくなった株券のコレクションが収蔵されています。台紙に印刷されている模様をご覧ください。昔の株券には、企業の建物やロゴマーク、事業を表すイラストなどがデザインされたものも多く、株券のコレクターも存在します。「株券に見る今昔」ではパネルを引き出して100点を超える株券のコレクションをじっくりとご覧いただけます。

股票

这里收藏着2009年股票电子化后，现在已经不再使用的股票珍藏品。请观看票券上印刷着的图案。以前的股票上设计了企业建筑物、商标以及很多显示该公司业务的插图等，当时的股票至今仍然是收藏的对象。“股票上看今昔”，我们可以拉出显示面板，仔细观看100个以上的股票收藏品。



戦中・戦後

満州事変以降、15年にも及ぶ戦争の時代に入った日本では経済も次第に自由を失っていきました。1943年には全国11か所に存在していた証券取引所はすべて統合され半官半民の日本証券取引所となり、終戦直前まで取引は続けられましたが、1945年8月から売買立会は停止、1947年に日本証券取引所は解散となります。一方で財閥解体により大量の株式が一般に再配分され、証券民主化運動と相俟って、株式所有の大衆化が急速に進展しました。そして1949年5月、東京証券取引所での取引再開が認められました。

第二次世界大戦後の出来事については、二階の回廊にも写真を展示しておりますのでご覧ください。

战争时期及战后

九一八事变后，日本进入了长达15年的战争时代，经济也逐渐失去了自由。1943年，日本全国11个证券交易所全部被合并，成为半官半民的日本证券交易所，这样一直持续交易到临近战争结束前，但在1945年8月开始停止交易，并在1947年日本证券交易所解散。另一方面，由于财阀的解体，大量的股份被再分配，加上证券民主化运动，股份持有大众化迅猛发展。1949年5月，东京证券交易所被批准重新开始交易。

关于第二次世界大战后发生的事情，请观看二楼回廊上展示的照片。



コンピュータの導入

証券市場が再開された翌年の1950年、朝鮮戦争が勃発します。戦争特需で株式取引は大幅に増加し、手作業での事務処理が追い付かない状況となりました。そこでアメリカへの視察を経て1953年コンピュータを導入しました。

1974年には相場報道システムが稼働し、証券会社に直接株価を配信できるようになりました。またそれまで立会場内の黒板にチョークで書き込まれていた株価が電動式掲示板で表示されるようになりました。

1982年には売買業務もシステム化。

さらに1990年には立会場事務合理化システムが稼働し、一定数量以下の小口注文はオンラインによる発注が可能となり、その後の証券事務のシステム化を加速していくこととなりました。

计算机的引入

证券市场重新开放交易的第二年，即1950年，朝鲜战争爆发。由于战争这一特殊需求，股票交易大幅增加，手工处理业务无法再跟上需求。于是通过去美国的视察学习，东京证券交易所在1953年引进了计算机。

1974年开始导入行情报道系统，可以直接向证券公司发送股价。此外，以往的股价是用粉笔书写在交易会场内的黑板上，现在变成了在电动公告板上显示股价。

1982年股票交易业务也实现了系统化。

1990年开始在股票交易场内引进事务合理化系统，一定数量以下的小额订单可以在线订购，之后，证券事务系统化也加速进行。



旧建物

黒い模型は、東京株式取引所の建物です。長方形の市場館は1927年、円形の玄関が特徴的な本館は1931年に完成しました。ギリシャ式のこの建物は昭和初期の洋風建築の傑作とされ、兜町のシンボルとして親しまれました。

左側には株券売買立会場の模型があります。中には馬蹄型のポストと呼ばれる場所が14か所あり、ここに全国からの注文が集められました。この立会場は床がクッションフロア、天井はステンドグラスからの優しい光が入るようになっており、ここで働く証券マンにやさしい環境となっています。

旧建築物

黑色模型是东京股票交易所的建筑。长方形的市场馆于1927年完成，以圆形玄关为特征的本馆于1931年完成。希腊风格的该建筑被认为是昭和初期西式建筑的杰作，作为兜町的象征而被人们所喜爱。

左边是股票买卖交易场的模型。其中有14处被称为马蹄型交易台，这里聚集了来自全国的订单。该交易场的地板是缓冲地板，温和的光线从天花板的彩色玻璃射入，这里的环境对在这里工作的证券人员很友好。

2階部分

3つの丸いプレート



この3つの丸いプレートは、左が「工業」、真ん中が「商業」、右が「農業」を表しています。

「工業」には歯車やハンマーが、「農業」には鎌や農作物が描かれていて分かりやすいのですが、真ん中の「商業」をご覧ください。羽の生えた蛇の絡みついたちょっと変わった杖がデザインされています。これで何故「商業」なのか分かりますか？

これはギリシャ神話に出てくる商業の神様「ヘルメス」、ローマ神話では「マーキュリー」が持っている杖なのです。

この3つのプレートは、東京証券取引所の一世代前の建物に飾ってあったとても古くて貴重なものです。今の建物に1985年に建て替えたときに、ここに移設いたしました。

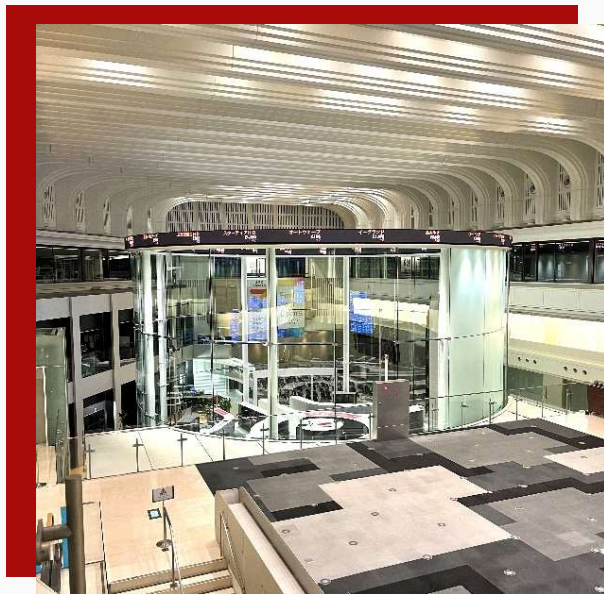
3个圆盘

这3个圆盘，左边是“工业”，中间是“商业”，右边是“农业”。

“工业”盘上画着齿轮和锤子，“农业”盘上画着镰刀和农作物，很容易理解，请观察中间的“商业”盘。设计了长着翅膀的蛇缠绕着的有点奇怪的手杖。您知道为什么这代表“商业”吗？

这是希腊神话中出现的商业之神“赫尔墨斯”，即罗马神话中“马克里”所拥有的手杖。

这3个圆盘是装饰在东京证券交易所前一代建筑里的非常古老而珍贵的东西。1985年重建现在的建筑物时，移设到了这里。



今日の前に広がっているこの空間を東証アローズといいます。広さは約1800平方メートル、高さは約15メートルあります。1999年まで、ここは「株券売買立会場」と呼ばれていて、大勢の証券会社の方が特殊な手のサインを使って、手作業での株の売買を行っていました。

中央に見える大きなガラスの筒はマーケットセンターといって、もともとは株取引の情報を監視するために作られた施設です。ガラスの上の電光表示はチッカーと言って、たった今取引が成立した株価が次々と表示されています。

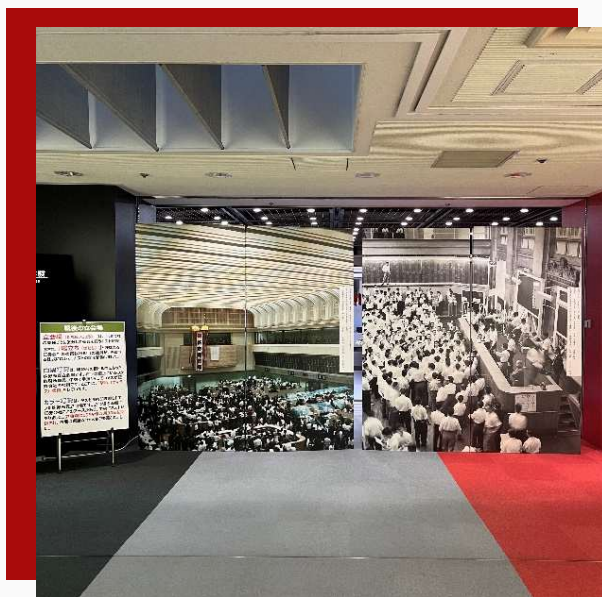
ガラス越しに見える二階建てのアパートの様な施設は、メディアセンター。そして手前に見えるモノトーンのカーペットの敷き詰められた中二階の部分はオープンプラットフォームと呼ばれる多目的スペースです。

东证Arrows

现在展现在我们眼前的这个空间叫做东证Arrows。面积约1800平方米，高约15米。中央的大玻璃筒叫做市场中心，原本是为了监视股票交易信息而建造的设施。玻璃上的光电显示器叫做股票行市自动收录器，刚刚成交的股票价格一个接一个地显示在上面。

透过玻璃看到的像2层公寓一样的设施是媒体中心。而前方所看到的铺满单色地毯的中二层部分是被称为开放平台的多功能空间。

截至到1999年为止，这里被称为“股票交易大厅”，很多证券公司的人都会通过使用打手势的特殊的方式进行手动股份买卖。



この2の写真は東証アローズの前身「株券売買立会場」時代のものです。

白黒写真は一代前の建物にあった立会場。中ほど左側に手のサインを使って売買している人が写っています。またこの時代は成立した株価を、その都度黒板にチョークで書いて表示していました。

左側のカラー写真は、今皆さんがいる、この建物の立会場時代のものです。一階部分はすっかり改装されて様子が変わっていますが、天井付近は今も昔のままです。

多い時には2000人近い証券会社の人が集まり活気のある取引が行われていました。

手作業での売買は徐々にコンピュータ化され、1999年に100%コンピュータ取引となり、翌2000年5月に東証アローズとして生まれ変わりました。

今はもう証券会社の方は誰もいらっしゃいません。

交易場

这2张照片是东证Arrows的前身“股票交易大厅”的照片。黑白照片是前一代建筑物里的交易大厅。中间左边是正在用打手势的方式进行股票交易的交易员。另外，这个时代每次都会用粉笔将成交的股价写在黑板上。

左边的彩色照片是大家所在的这个建筑大楼里的交易大厅的照片。一楼在完全改装后样貌发生了变化，但天花板附近还是以前的老样子。

人多的时候，近2000名证券公司的员工聚集在一起进行交易，场面气氛非常活跃。

手动买卖逐渐计算机化，1999年实现了100%计算机交易，第二年即2000年5月东证Arrows应运而生。

现在证券公司的员工都不用来现场了。

マーケットセンター



マーケットセンターは高さが10メートル、直径約17メートル、円周約50メートルの大きなガラスの円筒です。このようにガラス張りになっているのは市場の透明性や公正性を表しているからです。

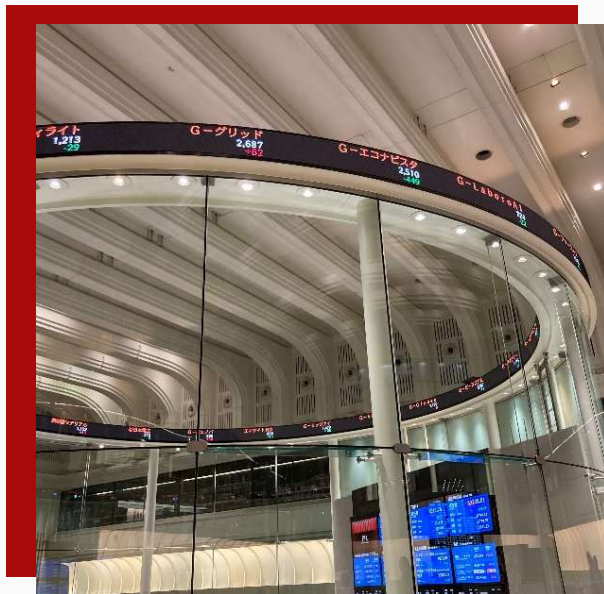
もともと株取引の情報を監視する場所として作られたもので、新型コロナの前はこのガラスの中に30人以上の職員がいて、おかしい値動きはないか、異常な注文はないか…と取引の間中監視していました。

ただ、コロナ禍で「密はいけない」とされたため、館内の違う部屋に移動しましたが、以前と同じ体制で監視を続けています。でも実は1人か2人だけ今もこの中で作業をしている人がいるのですが見つかりましたか？今は貴重になった東証アローズの中で働く人の姿です。もし席を外していただらごめんなさい！

市場中心

市場中心是一个高10米，直径约17米，圆周长50米的大玻璃圆筒。之所以玻璃化，是因为它体现了市场的透明性和公正性。原本是作为监视股票交易信息的场所而制作的，新冠疫情之前该玻璃圆筒中有30名以上的职员进行股票监控，在交易时间内监视有没有奇怪的价格变动或异常的订单。但是，由于疫情原因“不能聚集”，所以移动到了馆内不同的工作室，但仍以与之前相同的体制继续监视。但是您发现了吗？实际上只有一两个人现在也在这里面工作。这是现在在东证Arrows中工作的人的珍贵身影。如果他们现在离开了座位的话那就很抱歉咯！

チッカー



チッカーは表示が回る株価ボードです。回る速度は4段階に設定されていて、取引が多くなると速く回るようになります。

表示の1段目は銘柄名、2段目はたった今成立した株価、3段目は前日の終値との比較です。

株価は一株の値段ですが、東証での株の売買は100株単位…と決まっていますので、株を買うときには2段目に表示されている数字×100が必要な金額となります。また3段目の比較の色使いですが、世界のマーケットでは一般的に株価が上がったときに緑、下がったときに赤を使います。日本では昔から紅白をおめでたい色とする文化がありましたので、上がったときに赤を使ってきました。同じように、赤をおめでたい色とする、中国、台湾、韓国でも上がったときに赤で表示しています。

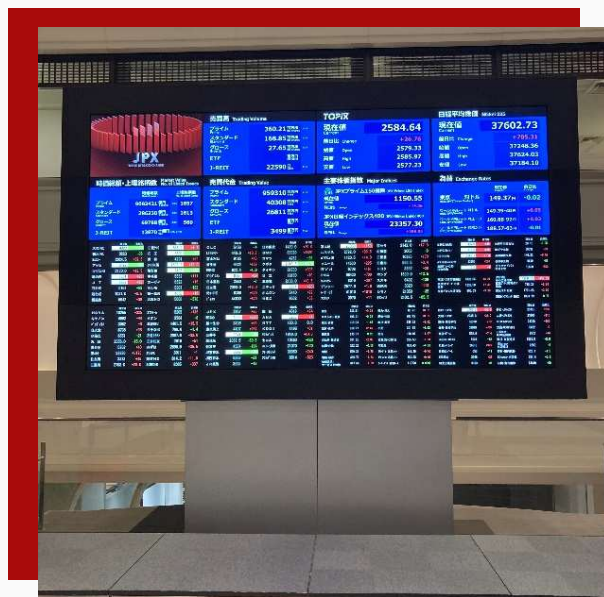
股票行市自动收录器

股票行市自动收录器是旋转显示股价的股价板。旋转的速度设为4档，交易活跃时就会旋转得快。

显示内容的第1段是股票名，第2段是刚刚成交的股价，第3段是与前一天收盘价的对比。

显示股价是单股的价格，但是由于在东证的股票买卖是以100股为单位的，所以买个别股的金额应该是第2段显示数字×100。另外，第3段对比使用的颜色，世界市场一般股价上升时使用绿色，下降时使用红色，但，日本自古以来就有以红白为喜庆颜色的文化，所以上升时使用红色。同样，中国、台湾、韩国也是把红色作为喜庆的颜色，所以上升时用红色表示。

マルチディスプレイ



マーケットセンターの中に見える大きな株価ボード：マルチディスプレイは70インチの大型モニターを16台組み合わせてある巨大なモニターで、東証での取引に関連する様々な情報を表示しているものです。

左上にJPXグループのロゴがあります。その下は、東証の3つの市場「プライム」「スタンダード」「グロース」それぞれの時価総額と上場銘柄数です。

その右側の「売買高」と「売買代金」は、今朝9時の取引開始から東証でどれくらいの取引が行われているかを表示しています。売買高は取引された株の数、売買代金はその金額です。

そしてその右側には、TOPIXや日経平均株価など、株価指数を表示しています。会社の株価を使って日本経済の動きを表しているのです。

下半分の画面は、取引時間中とそうでない時とでは表示が大きく変わります。取引時間中は黒い背景で大型株100銘柄の株価などを表示しています。取引時間外には青い画面に変わり、大阪取引所の先物市場や海外の市場の状況が表示されます。

多屏显示器

市场中心里可以看见一个大股价板：多屏显示器是一个组合了16台70英寸大型显示器的巨型显示器，用来显示东证交易相关的各种信息。

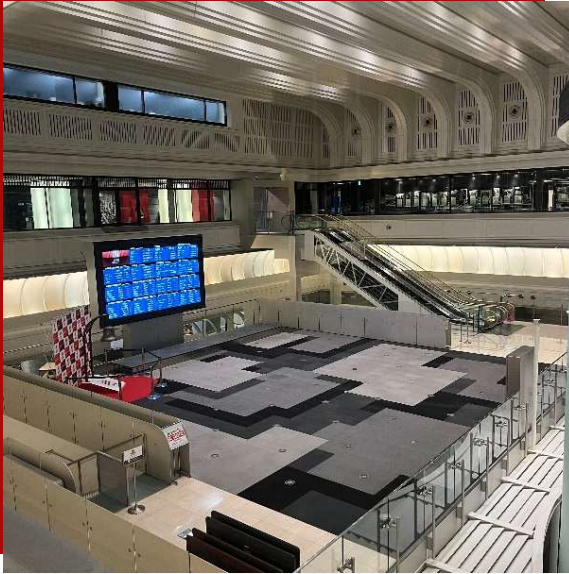
左上角是JPX集团的商标。请看下面。分别是东证3个市场“优质”“标准”“成长”的市值总额和上市品种数。

右边的“交易量”和“交易金额”显示了从今天早上9点交易开始后在东证进行了多少交易。交易量是被交易的股票数量，交易金额是该成交金额。

在其右侧，显示了TOPIX和日经平均股价等股价指数。用公司的股价来显示日本经济的动向。

下半部分的画面中，交易时间和非交易时间的显示会有很大的变化。交易时间以黑色为背景显示100股大型股的股价等。非交易时间会变成蓝色画面，显示大阪交易所的期货市场 and 海外市场的情况。

オープンプラットフォーム



モノトーンのカーペットが敷き詰められている中二階のフロアーはオープンプラットフォームと呼ばれる多目的スペースです。年末年始の「大納会」や「大発会」、そして年間を通じて行われている「新規上場セレモニー」という、企業が東証のマーケットに上場した初日の記念セレモニーもここで行われます。セレモニーの象徴でもある打鐘式に使われる鐘も今はここに常設されています。

オープンプラットフォームではマーケットセンターを間近で見上げてその迫力を体感することができます。またここにもマルチディスプレイが設置されていて、すぐそばで情報を確認することが出来ます。

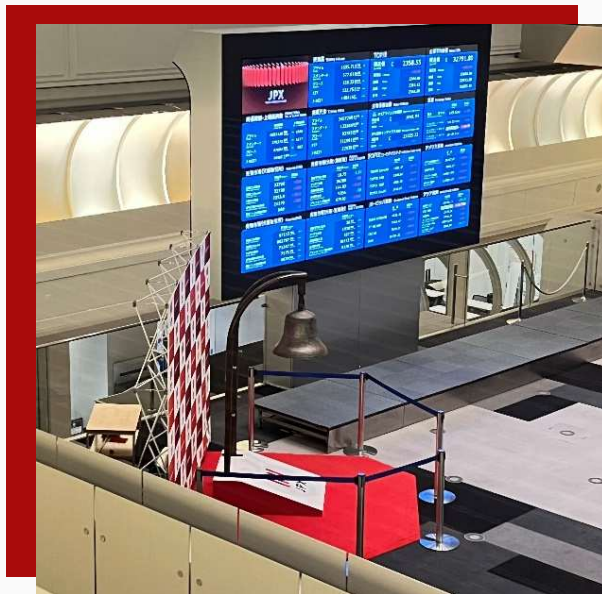
売買が成立するたびに株価表示が点滅するのが分かりますか？リアルタイムでのマーケットの息づかいが感じられます。

开放平台

铺着单色地毯的中二层是被称为开放平台的多用途空间。年末年初的“大纳会”和“大发会”，以及全年都会举办的，企业在东证市场上市第一天的庆祝仪式即“新上市仪式”也在这里举行。作为仪式象征的敲钟仪式上使用的钟现在也常设在这里。

在开放平台上可以近距离仰望市场中心，感受其魄力。另外，这里也设置了多屏显示器，可以在旁边确认信息。

每次交易成交时股价显示都会闪烁，这样能在开放平台感受到实时市场的氛围。



マルチディスプレイの左側にある古めかしい鐘は「上場の鐘」と呼ばれています。大納会や大発会など各種セレモニーの打鐘式で木槌を使って鳴らされていますが、特に新規上場セレモニーで使われる機会が多いことからこの名前と呼ばれるようになりました。

セレモニーでは5回鳴らすことが決まりとなっています。穀物などの農作物が豊作になることを願った「五穀豊穰」という言葉にあやかって、上場する会社や証券界が発展しますようにという願いが込められているのです。

この鐘は昭和3年に作られた電動式の鐘で、当時は「立会開始電鈴」という名前だったことが記録に残されています。昭和10年ごろまでこの鐘を合図に取引を開始していたのです。第二次大戦中の金属回収令も免れて今にその姿を残しています。

上市之钟

多屏显示器左侧古色古香的钟被称为“上市之钟”。在大纳会和大发会等各种仪式的敲钟仪式上使用木槌鸣响，特别是在新上市仪式上使用的机会比较多，所以被冠以此名。

仪式上规定要敲5次，来源于祈愿谷物等农作物丰收的“五谷丰登”一词，包含了希望上市公司和证券界发展越来越好的愿望。

此钟是1928年制作的电动钟，从留下来的记录得知它的名字叫做“交易开始电铃”。到1936年左右为止，一直以这个钟为信号开始交易。在第二次世界大战中的金属回收令中幸免了，所以现在留下了它的身影。

メディアセンター

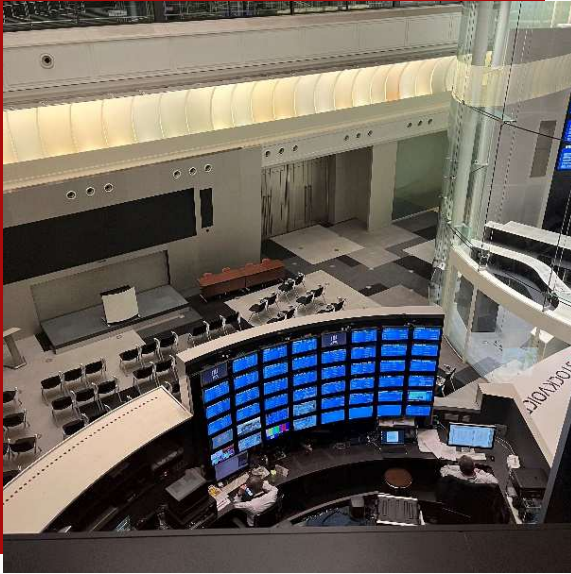


北側の回廊の下にある2階建てのアパートのような建物は、メディアセンターと言って、それぞれの部屋に日本の主要なテレビ局・ラジオ局のサテライトスタジオが入っています。1階の一番右の明るく照明がついているところは、マーケット専門チャンネルのストックボイスが入っていて、株取引が行われている間中、「東京マーケットワイド」という番組を生放送しています。

媒体中心

北側回廊下面像2层公寓一样的建筑物，叫做媒体中心，每个房间都有日本主要电视台、广播电台的卫星演播室。1楼最右边照明很明亮的区域有《股票之声StockVoice》的广播工作室，这是一个面向个人投资者的网络新闻媒体，会直播《东京市场通Tokyo Market Wide》节目。

コントロールルーム



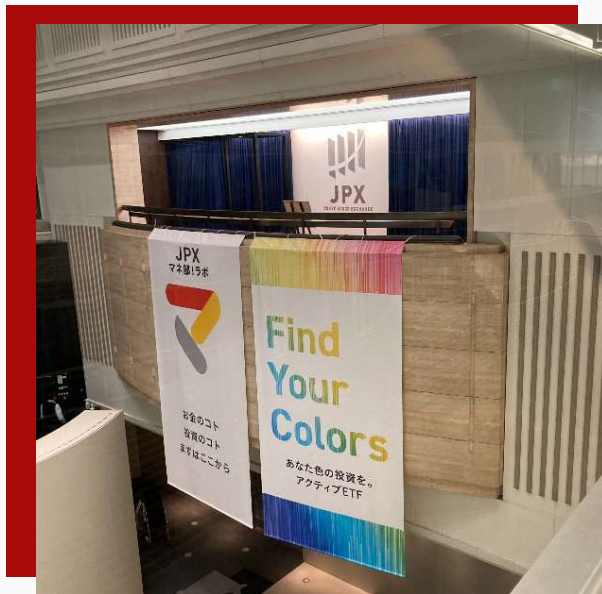
回廊から少し下を覗き込んでみてください。小さなモニターの集まっている秘密基地のような場所が見えませんか？

ここはコントロールルームといいます。東証アローズの中にはマルチディスプレイやチッカーなどの電光表示があります。その表示の指令はこのコントロールルームの中で行っているのです。背の高い方は覗き込んでみると中で働いている人の姿が見えるのではないのでしょうか？今は貴重になった東証アローズの中で働く人の様子をここで確認することが出来ます。

控制室

请从回廊往下看。有没有看到显示屏聚集的秘密基地一样的地方？

这里叫控制室。东证Arrows中有多屏显示器和股票行市自动收录器等光电显示板。该显示板的指令是在该控制室里进行的。个子高的人请往里看看，有没有看到在里面工作的人的身影？在这里可以看到在东证Arrows中工作的人的珍贵身影。



回廊の東側にあるこのバルコニーはVIPテラスといいます。

上場の鐘は以前はこのテラスに設置されていて、新規上場セレモニーの締めくくりとしてここで打鐘式を行っていました。東証のマーケットに会社を上場させた人だけが立ち入ることを許された特別な場所だったのです。しかしこのテラスも狭いスペースであることから、新型コロナを機に上場の鐘はオープンプラットフォームに下されました。

ビロードのカーテンがかけられ、赤い絨毯が敷き詰められた重厚な姿が当時を偲ばせています。

VIP露台

回廊东侧的这个阳台叫做VIP露台。上市之钟以前就设置在这个阳台上，在这里举行敲钟仪式，作为新上市仪式的结尾。这是一个只有让公司在东证市场上市的人才能进入的特别场所。但由于这个露台空间狭小，所以以新冠肺炎为契机，上市之钟被转移到了开放平台上。挂着天鹅绒窗帘，铺满红毯的厚重姿态让人不禁怀念起当时的情形。

プレゼンテーションステージ



プレゼンテーションステージは、主に上場会社の方にお貸ししているスペースで、決算の発表や企業説明会などが行われています。100インチの大型ディスプレイが3面配置されているほか、プロジェクターや音響装置、照明設備も備えられていて100人前後収容できるため、東証が主催するセミナーやイベントなどにも使われます。東証アローズの1階フロアーにあるスペースなので、ここから見上げたマーケットセンターは圧巻です。

演示台

演示台主要是借给上市公司，公布该企业财务业绩和进行企业说明会等。3面配置了100英寸的大型显示屏，还配备了投影仪、音响装置、照明设备，可以容纳100人左右，因此也可以用于东证主办的研讨会和各种活动等。由于是位于东证Arrows一楼的空间，所以从这里仰望的市场中心是最具魅力的。



東口玄関は東京証券取引所のシンボルと言える場所。建物の写真は大概この玄関の外から撮っています。そしてここは東証の金運スポットでもあるのです。実はこの玄関、厳密には南東の方角を向いている玄関なのです。バルコニーから下を覗いてみてください。1階の床に十二支の円盤があるのが分かりますか？少し見えづらいのですが、辰と巳（へび）の間、辰巳の方角を向いているのが分かります。風水では辰巳の方角に玄関を構えるとその家には良い運気が入ってくるとされているのです。

また天井をご覧ください。扇形のステンドグラスがはまっていますね。この玄関は扇型をしているのです。そしてその扇が東証アローズの方向に向かって広がっています。この末広がり（はなはだ）の形もとても縁起が良いので、東口は東証の金運スポットとされているのです。

东口

东口玄关可以说是东京证券交易所的象征。建筑物的照片一般都是从这个玄关的外面拍的。而且这里也是东证的财运景点。其实这个玄关，严格来说是面向东南方向的玄关。请从阳台往下看。您知道一楼有十二生肖的圆盘吗？虽然有点看不太清楚，但可以看到是朝着辰和巳之间即东南方向。在风水中，在辰巳的方向设置玄关的话，家中会有好运。

请再看天花板。镶嵌着扇形的彩色玻璃。天花板上的这个扇形的彩色玻璃朝着东证Arrows的方向蔓延。由于在末尾展开的形状很吉利，所以东口也被认为是东证的财运景点。